

平成21年市政10大ニュース（月別順）

◎緊急経済対策本部を設置し、景気浮揚策を実施（1月）

景気低迷の状況に対応するため、「緊急経済対策本部」を設置しました。中小企業向け融資制度の拡充や緊急雇用就業機会創出事業などの雇用対策、公共事業の前倒し発注、定額給付金や子育て応援特別手当の円滑な支給を実施。また、プレミアム付き商品券の発行支援を行うなど緊急経済対策に取り組みました。

◎「まもりんピック姫路」の開催など市民との協働の輪広がる（3月・5月）

消防・防災の知識などをゲームや競技を通して習得し、自主防災の輪を一層広げてもらうため、全国初の試みとなる消防防災運動会「まもりんピック姫路」を開催。また、市民が積極的に社会参加・貢献できる仕組みづくりを進め、市民活動団体の活動を支援するため「市民活動・ボランティアサポートセンター」を開設しました。

◎観光客数が1000万人を突破、新観光案内所をオープン（3月・4月・8月）

二十年度の総入込客数が1,051万8千人となり、「観光基本計画」の目標「1000万人集客都市・ひめじ」を初めて実現。JR姫路駅には新観光案内所をオープンし、観光客へのホスピタリティを一層充実させました。また、全国から市のイメージキャラクターを募集し、「しろまるひめ」に決定しました。

◎新たな総合計画を策定（3月・4月）

住民と地方自治体と一緒に個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するため、新たな総合計画「ふるさと・ひめじプラン2020」を策定。また、公共交通を中心とした総合交通計画を策定しました。

◎初の小中一貫教育推進モデル校がスタート（4月）

小学校と中学校の教職員が互いに連携・協力しながら、9年間を見通した連続性・一貫性のある教育を実施する小中一貫教育をスタート。全市展開の先駆けとして、モデル校である白鷺小学校と中学校で市内初となる取り組みを開始しました。

◎猛威を振るう新型インフルエンザ対策を着実に実施（5月・9月）

新型インフルエンザ対策本部を設置し、5月17日から22日までの間、**学校園などを休業**したほか、各種行事の自粛などを実施し、感染の拡大防止に努めました。また、9月には「**新型インフルエンザ対策計画**」を策定。夏場以降は、学校園や保育所などでの**集団感染の発生**を受け、学校・学級閉鎖などの措置をとりました。

◎姫路科学館をリニューアルオープン（8月）

「実験体験」と「本物体験」ができる先進的な展示を導入し、**姫路科学館をリニューアルオープン**。宇宙や身の周りの現象を実験するように試すことができるオリジナル装置のほか、**収蔵資料を公開するコーナー**など全部で109点の展示を備え、ほかにはない科学館として生まれ変わりました。

◎高架完了後の姫路駅周辺整備進む（8月・11月）

姫路の新たな玄関口として期待される**姫路駅北駅前広場の基本レイアウトを決定**。バスとタクシーの乗降場を西側に、一般車の乗降場を東西両側に配置し、中央は歩行者優先の広場としました。また、朝日橋の撤去工事に向けて新たに内々環状東線を開通させ、**朝日橋付近の南北通行ルートを変更**しました。

◎姫路城大天守保存修理事業に着手（8月）

昭和三十九年に完了した解体復元工事から四十五年が過ぎ、大天守の漆喰壁や上層部の軒、ひさしの傷みなどが激しくなってきたため、二十一年度から約五年かけて**保存修理工事**を実施。八月には起工式を執り行い、十月には喜斎門橋の補強工事などを開始しました。

◎大日線などの開通で液晶パネル工場物流に弾み（9月・10月）

市街地東部の主要な南北幹線道路である**都市計画道路大日線**と県が整備を進めてきた**飾磨バイパス**が同時開通し、臨海部の交通利便性が格段に向上。稼働準備を進めているIPSアルファテクノロジーの**液晶パネル工場の物流**などにも弾みが期待されます。